

スポーツ人

スポーツは「青年をより強くより良くするための内面向上の原動力」である



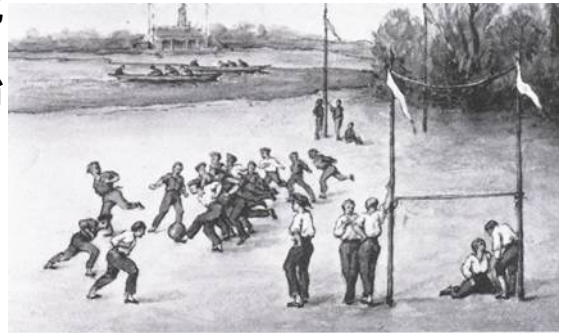
デイドン神父(1840-1900)

神父は、クーベルタンの考えをパリのカレッジで実践に移した。

モットー“*Citius - Altius - Fortius* (より早く、より高く、より強く)”の考案者。

クーベルタンがスポーツを社会に広めた理由

- 学校教育にスポーツを組み込む
- 独自の“有益な体育(ジムナスティクス)”の開発
- “スポーツ・フォア・オール”の実現化
- 様々なクラブやスポーツ協会の創始と設立
- スポーツ教育学に関する多数の論文の発刊



1892年当時は珍しかったクラブサッカー